

日々の田高（田園調布特別支援学校・田園調布雙葉学園中学高等学校との交流会）

11月21日（金）に都立田園調布特別支援学校と、田園調布雙葉学園中学・高等学校との交流会を田園調布特別支援学校にて実施しました。本校からは生徒会4名が交流会に参加しました。まず、それぞれが自己紹介・学校紹介を行い、最後はボッチャを楽しみました。



はじめにそれぞれの学校紹介を行いました。最初は少し緊張気味でしたが、ボッチャを通して段々と打ち解け、作戦会議をしたり、笑顔で応援し合ったりする姿も見られました。

田高の生徒はボッチャが初体験という生徒が多かったですが、単純なルールながら奥が深く、老若男女問わず楽しめることから、文化祭でブースを作ってはどうか、などという意見にも繋がりました。

田園調布特別支援学校の皆さん、今回は素敵な交流会をご用意いただきありがとうございました。これからも交流を深めていきましょう。

<参加した生徒会の生徒たちのコメント>

○田園調布特別支援学校の紹介の時に、喫茶やものづくりがあることを知り、地域とのかかわりが活発であると思った。また、田園調布雙葉高校の紹介では宗教に関係がある高校であることを初めて知り、宗教の授業という田園調布高校にはない面白い授業があって、自分の考えを深める機会を与えてくれるいい授業だと思った。

○ぼっちゃが楽しかった。今回初めて田園調布雙葉高校の私立の人達と交流できたのでよかった。

○今回、特別支援学校や田園調布雙葉高校とのボッチャを通じた交流を経て初対面でもこんなに楽しめるスポーツがあったのかと感動しました。同じチームスポーツである、バスケやサッカーではあり得ないような初対面での結束力を体感できるとともに、この世界は十人十色であり平等に生きていけるということや、未経験のスポーツでもボッチャは誰でも楽しめるスポーツであることがわかりました。

○今後の生徒会活動に生かしたいことは、田園調布高校のことしか知らず、その周りの地域についての理解が浅いと感じたので、地域とのかかわりを大切にする活動をより増やしていきたいと思いました。

○ぼろにあ祭でぼっちゃしたいなと思いました。